

令和 7 年度 第 1 回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
【概要・要旨】

令和 7 年度 秋田県埋蔵文化財センター運営協議会概要

名 称	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
設置根拠	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会規定
設置目的	秋田埋蔵文化財センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため
委員構成	委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 7 名 計 9 名（うち女性委員 2 名） ※ 定数 1 0 名以内
委員任期	2 年間：令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで
第 1 回	令和 7 年 6 月 1 9 日 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 5 0 埋蔵文化財センター第 1 研修室

令和7年度 第1回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会 要旨

1 日 時：令和7年6月19日(木) 14:00～15:50

2 場 所：秋田県埋蔵文化財センター 第1研修室

3 出席者

委員：7名

高橋 忠彦	委員長	(秋田県文化財保護協会事務局長)
吉川 寿朗	副委員長	(仙北市立桧木内小学校校長)
安杖千佳子	委員	(仙北地域振興局総務企画部地域企画課課長)
伊藤 竜喜	委員	(柵の案内人 大仙市ほたるの会会員・史談会会員)
上田 満	委員	(横手市立大森小学校校長)
星野 友実	委員	(大仙市立高梨小学校校長)
渡部 育子	委員	(国立大学法人秋田大学名誉教授)

事務局：7名

大泉 真	所長(兼 払田柵跡調査事務所長)
袴田 道郎	副所長
佐々木敬隆	副主幹(兼)総務チームリーダー(兼 払田柵跡調査事務所副主幹)
新海 和広	副主幹(兼)調査チームリーダー (兼)払田柵跡調査事務所調査チームリーダー
村上 義直	主任文化財専門員(兼)中央調査チームリーダー
加藤 竜	副主幹(兼)資料管理活用チームリーダー
堀川 昌英	主任学芸主事

※欠席者：2名

栗林 靖雄	副委員長	(美郷町立六郷小学校校長)
和田 英範	委員	(南教育事務所仙北出張所所長)

4 協議内容

(1) 令和6年度事業報告

- ① 令和6年度 事業報告(調査関係)
- ② 令和6年度 事業報告(活用・普及関係)
- ③ (参考) 令和6年度 払田柵跡調査事務所 調査成果の普及と関連活動

(2) 令和7年度事業計画

- ① 令和7年度 発掘調査・整理、確認調査一覧
- ② 令和7年度 活用普及事業計画
- ③ (参考) 令和7年度 払田柵跡調査事務所 事業計画

(3) 本年度の事業等についての提言

5 委員からの御意見・御提言(抜粋)

- ・振興局としてはPRの部分でお役に立てる。埋蔵文化財センターの展示や講演会などの各種事業のPRをXやInstagram、SNSで紹介できるので、情報をいただければと思う。
- ・地元に払田柵跡があり、金曜講座や報告会などでいろいろと教えていただき大変ありがたい。小学校でも払田柵跡や埋蔵文化財センターの展示や作業の様子を見学している。子どもたちも地元の施設などに興味を持って来ているので、引き続き御指導をお願いしたい。
- ・大曲仙北地区の学校の利用が多く、横手地区の学校の利用が少ない。同じ県南地区だが横手地区で認知されていない感じがする。以前の協議委員から貸出キットの利用を勧められて借りたことがあった。貸出キットがあるということを周知できると、利用したいと思うこともあるのではないかと。興味を持って利用できるキットだった。
- ・地元の史跡に触れるということで、6年生はセカンドスクールで訪問して学習している。5月から6月の初めには2・3年生も払田柵跡に行つて地元にはこのような史跡があることを現地で見たりしながら少しずつ知識を得ている状況である。払田柵跡の歩き方について、昨年度は30人くらいの募集で12人の参加とのことでもったいない感じがした。地元にながらこのような取り組みがあるということを知らない子どもたちもいるのではないかと思い、宣伝したいと思った。
- ・岩ノ下遺跡から注目される木簡が出てきたということもあり、また払田柵跡からも漆紙文書の出土例があることから、予算上の措置が課題ではあると思うが、必要であれば新しい性能のよい赤外線テレビカメラの購入を検討していただきたい。
- ・教職員は異動があつて勤務先の学校が変わっていくが、社会科を専門としている者は、赴任した際に学校の所在する市町村史を見る。そこには遺跡のことも説明されている。ただ、地理的に詳しくない学校に行ったりするとなかなかイメージできないこともある。出前授業をお願いしたときに、学校が立地している近くにある遺跡を紹介するなど、子どもたちが遺跡を身近なものとして感じられるような授業内容も入れてもらえればありがたいと思う。
- ・秋田県の歴史はいつから人が住みはじめて、その後の時代の秋田をもっと分かりやすく説明してもらふ機会があれば良い。金曜講座で1年間、秋田の歴史を語るような講座を行ってもらふと楽しいのではないかと。旧石器時代からの秋田県の通史を取り扱う講座があると良い。
- ・展示室で、時代・時期名のあとに(〇〇年前)と表示しているところと表示していないところがある。できれば、表示してもらった方が分かりやすい。子どもたちもそれによってある程度は歴史をつなげていけると思うので、考慮してほしい。

6 センターより(抜粋):

- ・我々が普段行っていることが、少しでも地域の皆様のお役に立っていると感ずることができて安堵している。同時に、たくさんの御提言をいただき、期待していただいていることに改めて気づかされた。ただ、がんばっているがPRに工夫がないというのが全体的な御意見と思う。少しでも前に進めていくことができるように、皆様のお力を借りながら課題を解決していきたいと思う。